

助産学概論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

助産学の基本理念を踏まえ、これまでの国内外の歴史的変遷や現代における助産師の役割を学ぶ。加えて、助産学の主な対象となる女性への支援に焦点をあて、おかれている社会的背景を考察しながら、現代における助産師の役割を理解する。具体的には、助産師が行うケアの理念、お産の歴史と文化、助産師教育の変遷、日本・世界の母子保健、助産実践の倫理、特別に支援を要する健康問題（不妊、ドメスティックバイオレンス等）および家族計画について学修する。

・教育成果（アウトカム）

助産師が行う助産実践に関する基本概念を学ぶことにより、現代における社会的課題を理解しながら助産師の役割を考察することができる。さらに女性の人権や実践場面で遭遇する主な倫理的課題についても述べる事ができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. 助産師の定義と助産ケアの基本理念について説明できる。
2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と社会的問題について述べる事ができる。
3. 助産実践において起こりうる倫理的な課題に対して、自分なりの意見を述べる事ができる。
4. 助産師がお産と助産実践に関する文化的特性を理解する意義について説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/20 (木) 2 限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>助産師のコアコンピテンシーとケアの理念①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助産師の定義と特性について述べる事ができる ・ 助産師のコアコンピテンシーと助産師が行うケアの基本理念の関係性について説明できる <p>【事前学修】 教科書末巻「保健師助産師看護師法（抄）」を読み、助産師の定義と業務を要約する（60分以上）</p>
4/25 (火) 1 限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>助産師のコアコンピテンシーとケアの理念②（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助産師のコアコンピテンシーについて、学生間でのディスカッションを通して自分の考えを述べる事ができる <p>【事前学修】 配布された「助産師のコアコンピテンシー」を熟読し、提示された課題をまとめる（60分以上）</p>
5/9 (火) 5 限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>女性の意思決定を支える助産ケアと倫理課題（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の意志決定を支えるうえでの考え方をディスカッションを通してまとめることができる <p>【事前学修】 事前に配布されたケースを読み、自分ならどのように支えるか、自身の考えに影響を及ぼしている要因についてまとめる（60分以上）</p>
5/15 (月) 1 限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>リプロダクティブヘルス/ライツ①（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リプロダクティブヘルス/ライツの概念について説明できる ・ 家族計画、人工妊娠中絶、女性への暴力など社会的課題を説明できる <p>【事前学修】 「助産概論 P 106～、母性看護学概論 p 58～」自分の関心があるテーマ（1つ）に関連したニュースの記事を読み社会的課題についてまとめる（60分以上）</p>

5/22 (月) 2限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>リプロダクティブヘルス/ライツ②（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族計画、人工妊娠中絶、女性への暴力など倫理的課題についてディスカッションできる <p>【事前学修】 事前に提示した動画を視聴し、倫理的課題について自分の考えをまとめる（60分以上）</p>
5/29 (月) 2限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>プレコンセプションケアと助産師による保健指導（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレコンセプションケアに関心を持つ ・ 妊娠前からの保健指導について適切な時期と方法を思考することができる <p>【事前学修】 教科書 P87 図 2-3 の各項目の適切な保健指導の時期について「妊娠前から育児期」まで分類し、その根拠をまとめる（60分以上）</p>
6/7 (水) 5限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>助産実践の倫理（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助産実践で起こりうる倫理的課題への対応について、学生間のディスカッションを通じて、自分の意見を述べるができる <p>【事前学修】 事前に配布されたケースについて倫理的課題について要点をまとめる（60分以上）</p>
6/21 (水) 5限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>妊娠・出産にまつわる習俗（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産にまつわる習俗と助産師の役割について、学生間のディスカッションを通じて、助産師が文化的特性を理解する意義について説明できる <p>【事前学修】 教科書「お産と文化」を読み、習俗にまつわるエピソードを身近な人（親や親戚など）から聞きとり、書き留めておく（60分以上）</p>

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産師基礎教育テキスト第1巻助産概論・母子保健	工藤美子他編集	日本看護協会出版社	2023
教	母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護	中込さと子他編者	メディカ出版	2021

・ 成績評価方法

グループワークへの取組状況 70%、課題 30%にて評価する。なお、グループワークへの取組状況はグループワークでの主体性、積極的態、事前準備として課した内容の遂行状況を含む。評価の詳細については初回講義時に提示する。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

主体的な学修に向け、シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する。

2 回目の講義から各回パソコンを持参すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 2）：基礎助産学

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影